

西宮市議会議員

たかの しん

政党無所属・35才

◆苦楽園小・苦楽園中・関学高・関学大（法）卒業
 ◆元・阪急不動産（株）／阪急阪神不動産（株）勤務



公式 HP・SNS は
こちらから！

部活動の地域展開に対し、指摘・提言を続けています。

■公立中学校の部活動が終了し、地域に移行されます。

部活動は学校教育において重要な役割を果たしてきましたが、少子化により1つの学校ではチームを編成できないケースが増える等、継続が困難になりつつあります。教員の長時間労働が問題となっていることもふまえ、国は公立中学校の部活動を終了し、地域の団体等へ移行していく方針を掲げました（＝地域展開）。国の方針を受けて、本市は2021年頃から部活動の改革に取り組み始めたものの、一部の学校での実践研究等にとどまり、地域展開に対する具体的な課題の整理や情報発信は不十分でした。本年1月には活動の受け皿となる登録団体の募集を開始しましたが、活動場所・教員の関わり方・費用面など不確定な要素が多く、混乱を招きました。団体の登録状況は活動内容や地域によって大きく異なり、本格的な移行が来年度に迫る中、子ども達や保護者を中心に不安が広がっています。※1 私はこれまで教育子ども常任委員会で指摘を続けてきましたが、実施を約1年後に控え、6月議会では以下の通り問題提起を行いました。

■現場の実情に応じた地域展開を！

私が一般質問で取り上げたのは吹奏楽部の地域展開です。吹奏楽部は市内の部活動で最も部員数が多く、楽器や活動場所の確保が大きな課題となります。実施にあたっては、①学校での活動を前提とすること ②中学校ごとに1つのクラブを開設すること ③現在の部活動で用いている楽器を無償で使用できること ④指導者を広く募集すること が必要であり、そのための具体的な方策を提示するよう求めました。今回は吹奏楽について提言しましたが、それぞれの活動・地域には固有の課題があり、地域展開はそれぞれの特性に応じた形で進めるべきです。財源確保のため、私は国に対して財政支援等を求める意見書※2 を提出することも提案。審査の結果、西宮市議会全体の意思として、意見書を提出することが決まりました。

※1 最新の応募状況等は市ホームページでご確認ください。 ※2 地方議会が国等に意見を述べるため地方自治法で定められた手続

議会運営委員長・会派幹事長に就任しました。

5月に本年度役職の選任が行われ、議会運営全般に関する事項を協議・調整する議会運営委員会の委員長を拝命しました。公正・公平な議事の進行に努め、円滑な議会運営に貢献してまいります。また、6月からは所属する会派・ぜんしん（政党無所属の保守系議員7名で構成する市議会第2会派）の幹事長に就任しました。自分自身の政策提言はもちろん、今後は会派を代表する立場としても、多くの課題や議論に注力していく所存です。



医療費のお知らせ、年6回も必要ですか？

■医療費通知の郵送に多額の費用を要しています。

本市は国民健康保険の被保険者に対し、年に6回「医療費のお知らせ」を郵送しています。この通知に要する印刷費・郵送費・委託費の合計は、2025年度当初予算で約3,490万円。近年の郵便料金改定や人件費の上昇、物価高騰等の影響を受けて、直近の4年間で約1,000万円も増加しています。

◇通知に要する費用

2021年度	2,530万円
2025年度	3,490万円

※当初予算額
※印刷費・郵送費・委託費の合計額

■郵送回数の削減に取り組むべきです！

◇他市の郵送回数

年6回
西宮市ほか
年4回
越谷市、金沢市、奈良市、 鳥取市、下関市、佐世保市
年3回
いわき市、船橋市、豊橋市、 高知市、長崎市、那覇市
年2回
水戸市、宇都宮市、高崎市、柏市、富山市 大津市、倉敷市、宮崎市、鹿児島市
年1回
盛岡市、山形市、長野市、高松市

※調査対象：中核市／国民健康保険の医療費通知

他市の郵送回数を調査したところ、年1～4回にとどまる自治体も多いことが判明しました。本市も後期高齢者医療保険では年2回しか通知を行っていませんが、特に大きな問題は発生していません。郵送回数は通知の費用に直結するため、本市の国民健康保険においても回数を大幅に削減し、費用を圧縮するべきです。一方で、県からは「年6回以上の送付」を条件に、通知に要する費用の一部に充てる交付金が支給されています。このまま郵送回数を削減しても、交付金を得られなければ本市の支出が増大してしまうため、まずは県に対し、基準の緩和・撤廃を求めるべきです。

私の指摘を受けて、市は県に対し基準の緩和等に向けて働きかけた上で、郵送回数の削減に取り組む考えを示しました。引き続き状況を注意深く見守り、必要な指摘・提言を行ってまいります。

外郭団体への職員派遣は取りやめるべきです！

■シルバー人材センターに市職員が新たに派遣されました。。

本市には、市が出資や人的支援を行う等、密接な関わりを有する外郭団体が13団体存在しています。市との関わりが深いとはいえ、外郭団体はあくまでも市から独立した団体であり、経営の自立性や透明性を高める必要があります。従来は市の職員が多く派遣されていましたが、市職員は市役所の業務に専念すべきという観点からも、市は派遣を縮小・廃止する方針としてきました。ところが、本年、新たに3名の市職員が西宮市シルバー人材センターへ派遣されました。行政改革の方向性と逆行する今回の新規派遣には大きな問題があります。

◇本市の外郭団体

西宮市土地開発公社
西宮市都市整備公社
西宮市文化振興財団
西宮スポーツセンター
西宮市国際交流協会
西宮市大谷記念美術館
西宮市職員自治振興会
西宮都市管理株式会社
さくらFM
西宮市シルバー人材センター
西宮市社会福祉協議会
西宮市社会福祉事業団
にしのみや観光協会

■経営改善策を早期に実行し、派遣の早期引き上げを！

市は新規派遣の理由を「会員の高齢化に伴い業務とニーズのミスマッチが生じており、新規業務の受注に向けた営業活動が必要」「固有の正規職員がおらず事務局の体制を強化する」等と説明しました。私の追及に対し、市は今回の派遣が臨時的な対応であることを明言。経営改善策の進捗とあわせ、順次引き上げていくことを目指すと答弁しました。派遣が長期化しないよう、今後の展開を注視してまいります。

■PROFILE／鷹野 伸（たかの しん）

【お問い合わせ先】mail@takanoshin.jp／070-1524-7109

1990（平成2）年3月生まれ。西宮市立苦楽園小学校・苦楽園中学校・関西学院高等部・関西学院大学法学部卒業。大学在学中、「甲東ヌーヴェルヴァーグ・ウインドオーケストラ」を設立（初代表）、進学塾「関学ゼミナール」講師を務める。2012年、阪急不動産株式会社（現：阪急阪神不動産株式会社）に入社。新築分譲マンション部門にて約6年半勤務。2019年4月の西宮市議会議員選挙にて初当選、現在2期目。行政書士試験合格者、宅地建物取引士。